

講演の感想

1	「処理」という視点で考えたことがなかったので、とてもおもしろくお話を聴かせていただきました。
2	「適正規模」という言葉が出てから小規模校はよくないイメージがついてしまった気がします。本校は3・4年、5・6年複式ですが、本当に子どもたちはよく学んでいます。一人も「お客様」はいません。また、今日の講演を聴いて、確かに教師の指示が適切で子どもの活動も十分保障されている授業が多いなと思いました。山森先生、これからもぜひ複式のある学校、小規模校の学びのよいところをいろいろなところでお話されてください。明日からも今まで以上に自校の教育を自信をもって進めていくことができます。本当にありがとうございました。
3	深い処理（深い学び）について、協同学習の必要性和発問の重要性について学ぶことができました。生徒の思考について、さらに研究したいと思いました。
4	子どもたちの深い処理を促すためにグループ活動等の学習活動を単に行えばよいわけではなく、常に浅い処理でなく、「なぜ？」という視点を子どもたちに持たせるべきだという話が大変勉強になりました。深い処理をさせるような課題提示を行いたいと思います。
5	正答を示すだけでなく、説明・解説することで応用力が身に付くことを、客観的データを用いて解説していただき、腑に落ちた。
6	取り組んでいることを理論に基づいて説明していただいたので自信をもつことができた。
7	協同学習にも学習者がじっくり取り組む時間と教師が関わる時間の両立が大切だとわかりました。研究のデータをわかりやすく解説していただき、データを基に我々がどういった手立てを講じればよいのか提案・事例の多い内容でわかりやすかったです。
8	「学び」という漠然としたものを、「処理」という面から捉えていることが新鮮でおもしろかった。認知的に学習を捉えることで子どもの思考を促す方法、アプローチが変わるということがわかった。
9	実践意欲をかき立てられる講演だった。自分のクラスは学力高位群と低位群の差が大きいので、複式式の教育を単式学級に取り入れる手法は、今すぐにでも実践してみたいと感じた。
10	こうした研究会において常に協議されていること（課題設定の工夫、学び合いの場と目的、深い学びへの手立ての工夫など）について、研究にもとづいた理論を学び、非常に納得することができた。「学び」を「情報処理」として考える視点は、目から鱗であった。
11	子どもの学力向上のために深い処理を常に考えながら効果的に進めていくことの大切さがわかった。若い先生方にも新しい教育・新しい考え方を共有してよりよい学習指導に努めたい。
12	子どもたちの頭をどうはたらかせるか、「授業」「フィードバック」の仕方など工夫ができる、試したくなる講演でした。学校内の研究も、話し合うところをしばって深いものにしていきたいと思いました。
13	非常におもしろかったです。教師の思いだけでなく、科学的知見から授業を組み立てることの大切さも知ることができました。ご著書を読んでみようと思います。
14	実践の結果をもとに話されていたので、とても根拠があると感じました。「そうなのか。」と驚きや心に響くものもあり、今後の教育活動に生かしていければなと思いました。
15	自分がよいと思っていたことが、それはどうなのかということがありました。深い学びについて深く考えさせられました。とても難しいですが、実践していこうと考えています。
16	心理的に考えた深い学び、詳細を聞けば聞くほど関心が高まりました。

17	「学び」を科学からとらえることで、具体的にすべきことが見えてきた。授業づくりのアイデアが浮かんできた。大変良かった。
18	山森先生のお話は、わかりやすく役に立つ内容でした。フィードバックの仕方についても理解することができました。浅い理解と深い理解の往還を意識しようと思いました。
19	人によってとらえ方が異なる「学び」を「処理」という言葉を使うことですっきりしました。子どもによって、フィードバックの手立てを変えること、授業（学習）の仕方も、学習者が選択する時代が来るかも・・・など、いろいろなことを考えた90分でした。
20	客観的データを基にしたお話のため、非常に腑に落ちやすかった。
21	今回の講演を聴いて、自分の行いに無駄なところがあるなど、感じるがありました。特に、フィードバックについては、説明を付けなければならないところ、正誤・正答のみでも良いところなど、効率的・効果的にとてためになる講演でした。
22	フィードバックにも効果的なものとそうでないものもあるのだと知りました。子どもたちに少しでもプラスになる効果的なフィードバックを心掛けたいと思います。
23	宿題を出す・出さない、答案の正誤について、データがありわかりやすかった。教育相談や懇談会でも使えるときには使いたい内容であった。
24	納得できる根拠を基に、新しい研究を紹介していただきとてもためになった。
25	私たちが今まで学校でやってきていることが、子どもたちにどの程度影響を与えているのか数値化されたことで、よくわかりました。深い理解という考え方を学び、とても勉強になりました。
26	様々な研究にもとづいたお話は、これまで自分自身が考えていたことと違っていることもあり、勉強になりました。じっくり子どもに考えさせる大切さを感じました。
27	深い学びを実現するためには、目的意識をもったグループワークや学習者へのフィードバックが効果的であることなどが分かりました。特にフィードバックは効果が高く、教師が行わなければならないことだと分かりました。テストの返却などフィードバックを行っていきたいと思った。
28	「深い学び」のとらえ方が新しく、いつもと違う視点から考えることができました。
29	人数の少ない学校での教師と学習者の関わり方について、特に学ぶことができた。ありがとうございました。
30	科学的な手法により学びを処理として捉え、多くの教員が漠然と行われていたと思われるフィードバック、指導形態に対する価値付けを行っていたのが興味深かった。エビデンスを今後の実践に生かしたい。
31	学習者の処理についての視点から、教師の介入についてのご講義がとてもわかりやすく、興味深かったです。
32	「深い処理」という考え方から、フィードバックの重要性を理解しました。子どもがどう頭を使うのか、ということ考えた介入を意識していきたいです。
33	かなり論理的に学びの深さについて教えていただいたので、今教育で求められている学びの質と、それを実現する必要性および手立てが以前より見えるようになったと感じました。浅い学びと深い学びを適宜計画的に用いて子どもの生きる力を育てていきたい。
34	深い学びを現場の先生方とどのようにイメージをもつか考えています。①学んだことを既知とつなげる、②学んだことから未知のことを予想する、③学んだことを活用して問題を解決する、このような姿が子どもに見られるとき、深い学びといえるのではないかと自分なりに考えました。

35	子どもの処理の違いに着目し、その特性を理解し、利用する方法や、複式学級の特徴から教師の発言を分け、子どもが考える時間の大事なことをデータから理解することができた。
36	実験や調査の結果が意外なものが多く、驚いた。複式学級の指導方法を通常に用いてみようというアイデアが面白そうであった。
37	深い学びを科学的視点、データからとらえた興味深い話であった。少人数であっても教師が直接関わる時間を減らし、じっくりと課題に取り組ませることで深い学び（処理）につながるということがとても印象的であった。
38	非常におもしろく“深い学び”を教育専門の方からお話しいただき、有意義な時間となりました。
39	思考のメカニズム、認知のメカニズムを科学的に知ることができ、いろいろな示唆を受けた。深い学びには問いが大切である。また教師のコーディネート力が今後問われると思う。
40	Evidence-based で説得力のある、目からウロコの話でした。大変興味深いお話でした。複式スタイルとフィードバックに留意して支援にあたりたいと思いました。
41	実験、データ化された情報で、説得力がありました。自分自身の授業も分析してみたい。